



Special thanks

新型コロナウイルス感染症対策のため、皆様から様々な物品の寄贈や寄附金をいただきました。心から感謝申し上げます。

7月31日寄贈分まで

○7月15日

- 物品 / 抗菌マスクケース 3,200 個、飛沫防止用 PVC フィルム 150m
- 寄贈者 / マービテック株式会社様
- 配布先 / 市内小中学校



○7月22日

- 物品 / マスク 1,850 枚
- 寄贈者 / (一社) 丹波青年会議所様、丹波市商工会青年部様
- 配布先 / 市内小中学校



このほかにマスクや Web カメラなども寄贈いただきました。ありがとうございました。

新型コロナウイルス 追跡システムができました！

■兵庫県新型コロナ追跡システムとは
システムに登録された店舗などで新型コロナウイルス感染者の利用が判明した場合などに、同じ日に利用した人に県から注意喚起情報をお知らせし、感染拡大を防ぐためのシステムです。

■事業者のみなさんは事前登録を
兵庫県新型コロナ追跡システムホームページで店舗名などを登録して QR コード入りのチラシをダウンロードしてください。

■利用者のみなさんは店舗で登録を
店舗・施設などの利用時、その都度 QR コードを読み込み、LINE アカウントかメールアドレスを登録してください。登録された店舗などで感染者の利用が判明した場合、県から注意喚起情報が通知されます。

兵庫県新型コロナ追跡システム
コールセンター ☎ 078 - 362 - 9858
ホームページ→



農の学校 通信

【卒業生の就農状況 編】

農の学校 1 期生の古谷浩二郎さんは、今年 3 月の卒業後、氷上地域で就農しました。在学中に学んだ有機農法で野菜を栽培し、市内外のスーパーの直売コーナーなどに出荷しています。

農の学校で学んだ土作り・肥料のすき込み・支柱の立て方・機械の使い方などひと通りの農作業の経験が生きていると話す古谷さん。近隣の先輩農家さんからのアドバイスを受けながら、卒業時に立てた作付け計画に基づいて、専業農家としての第 1 歩を踏み出しました。

古谷さんは「まだまだ作業の効率が悪く、うまく行かないこともあるが、出荷した野菜がすぐに売れると嬉しい。農の学校は受講生同士で学べることも多かった。それぞれに就農している学校の仲間とのつながりに励まされながら、今後は有機の認証を取得し、地道にコツコツと農業を続けていきたい。」と語ってくれました。



上：夏野菜を収穫する古谷さん
下：形や大きさをそろえて、丁寧に袋詰めされた野菜